

故障原因及び調整法

〔巻取機構〕

- 巻上出来ず**
 - スプロケット軸(5507)曲り
 - ビス類脱落
 - シャッターの故障..... シャッター機構の項参照
- 巻上、重い
ムラ、キシ
ミ**
 - R軸(5492)の回転重い
 - スプロケット軸(5507)曲り.....巻上出来ずの項参照
 - 第1ギヤ(5503)と第4ギヤ(5628、903-2001)の噛合い深い
- 逆止効かず**
 - 逆止爪(5652、914-2178)作動不良..... 逆止爪とギヤの余裕を0.2~0.3mmに修正して下さい
 - 逆止爪軸(5654、903-2018)ゆるみ
 - 逆止爪バネ(5653、914-2179)外れ

修正不可能のものは、部品交換して下さい

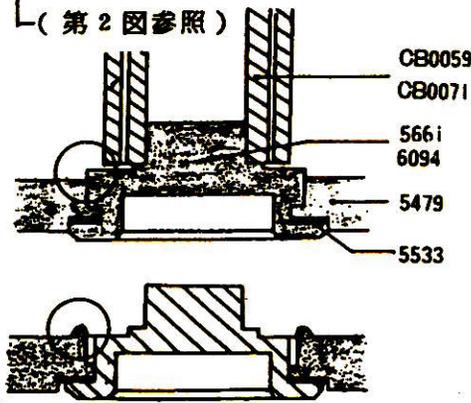
シャッターを左側に寄せて、第1ギヤと第4ギヤの噛合いを調整し、若干バックラッシュがあるようにして下さい

巻上げがストップした位置で逆止爪の先がギヤ(5628、903-2001)の噛に掛り、逆戻りをストップしているが、逆止爪の噛合いがギヤの最後の歯に落ちるとき、巻上ノブ(5502、6915)を強く巻上げないと逆止爪が落ち込まなかったり、巻上ストロークの調整が不十分でギヤが戻ることのないように偏芯(5654、903-2018)で調整して下さい

- フィルム送り不確実**
 - スプール(CB0059 CB0071)の回転力量軽い
フィルム巻取時、スプール室に太くゆるく.....
巻取れるのは、スリップ力量がムラ、又軽すぎるためです
 - スプール下受(5661 6094)取付悪い.....
 - スプール室(本体)加工不良
スプール下受のネジ部が本体面より必要以上に出ているもの、スプロケット歯底より出ているものは削り取って下さい
 - スプロケットの空転が早い
テスト用フィルムを入れて2~3回巻上げた後Rノブをまわしてフィルムを緊張させ、そのままの状態でもR釘(5544)を押したときRノブが回転するまでストロークを見て下さい

スプールの必要力量(300~450gf)を確保するために、スプールバネ(5441 7057)を修正し、又力量ムラはスプールの偏芯、スプール受(5526)の油切れに注意して下さい

調整座金(5533)を挿入して下さい
(第2図参照)



- 駒数計指標進まず**
 - 番号板下バネ(5519)弱い..... 強目に曲げて下さい
 - 指標板(5521)がカバー(5520)にスレ..... 座金(5529)を指標釘(5522)に挿入して下さい
 - 指標釘(5522)がカバーにスレ..... カニメビスの下にNW2-289BOを挿入して下さい
- 駒数計進まず**
 - フッキバネ(6936)外れ
 - ツナギバネ(6937)外れ
 - フッキジク(6936)カシメ外れ
 - コマジク(7167)カシメ外れ..... コマジイタ(6932)交換して下さい
 - アイドルジク(7171)カシメ外れ

第2図